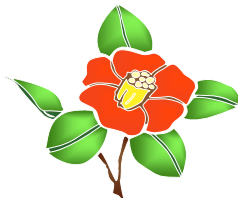


三中校報



令和2年度 第10号

大島町立三中学校

校長 松島 睦磨

令和3年3月24日発行

電話 04992(4)0183

FAX 04992(4)1964

E-mail: 06T000@jzu-oshima.ed.jp

令和2年度を終えるにあたり

校長 松島 睦磨

令和2年度が終了しようとしています。1年間、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。感染症対策を伴う卒業式が無事終了しました。卒業生のために、在校生・教職員全員が気持ちを精一杯込めて卒業を祝福しました。昨年に引き続き式は感染症対策のため、時間短縮やご来賓に参加をご遠慮いただいたり、学校生活では3学期に延期していた修学旅行が中止になるなど様々な制約がありました。それでも昨年実施できなかった「三年生を送る会」を実施することができ、卒業生の中学校生活最後の日々に多少なりとも思い出の彩を添えることができました。本校報に卒業生「答辞」・在校生「送辞」をご紹介します。どうぞ一読いただきたく存じます。加えて、以下に校長式辞（抜粋）をご紹介します。

令和2年度 第74回卒業式 式辞

ビオラ、パンジー、さくらなでしこ、リビングストン、オキザリス。

心を込めて育てられた1万本を超える花々に囲まれて本日、大島町立第三中学校第74回卒業証書授与式を挙行することができますことを、心よりうれしく思います。

保護者の皆さま、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。義務教育のすべての課程を修了するにあたり今、皆様の心の中には深い感慨をもって、お子様のこれまでの成長の過程が思い起こされているのではないのでしょうか。子育てを最優先に15年間という年月をすごし、本日のよき日を迎えられた保護者の皆様に対し、心から深く敬意を表します。

また、今般の感染症対策に関しまして、深いご理解とご協力を賜りました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

卒業生のみなさん、卒業おめでとう。みなさんが三中に残してくれたすべての実績と、引き継いでくれたすべての伝統に対し、第三中学校を代表して心からのお祝いと感謝の気持ちを伝えたいと思います。

皆さんの中学校生活の最後の1年間は、感染症対策に明け暮れた1年間でした。生活の全てにその影響があり、学校生活でも多くの困難があった1年間でした。

そのような中でも皆さんは3年生として堂々と三中のリーダーとしての役割を果たし、伝統を継承し、発展させ、後輩へつなげてくれました。皆さんは三中が心から誇ることができる卒業生です。将来きっと、この地域社会の担い手として活躍してくれると確信しています。

そんな皆さんの未来にメッセージを3つ送ります。

一つめ、「夢の実現をめざす人になってください。」

将来の自分の姿を見つめ、本気で考え、本気で学んでください。そうしてみなさんは社会に貢献する力を身に付けてゆくのです。

二つめ、「命というものを大切にする人になってください。」命とは人の生きざまそのものです。生きるものすべてに感謝・思いやりの心を持つことが、あなたをそして地域社会を前進させるのです。

三つめ、「この大島を誇りとする人になってください。」皆さんが育ったこの島を愛し、誇りということは皆さんの人生における自信となります。自分の心の中の大島が皆さんにいつでも勇気と自信を与えてくれます。国際人とは誇りをもって故郷をかたる人であり、故郷に誇りをもつあらゆる民族、文化に敬意を抱く人のことです。これらのことは、君たちのふるさと大島が君たちに期待する姿なのです。

光陰矢の如し

あっという間に過ぎ去り、二度と戻らない三中での日々が終わろうとしています。第三中学校は皆さんがこれからそれぞれの新たな人生のステップにおいて、さらに大きく成長してくれることを切に願っています。

おすびになりますが、本日ご臨席の保護者の皆様、私たち教職員一同は今後も立派な社会人の育成を目指し、第三中学校の教育活動を全力で進める所存です。今後とも第三中学校にご理解とご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

本年度も本誌「三中校報」をお読みいただきありがとうございました。本校の教育活動を様々な切り口で紹介する意味で大切にしている情報提供の機会であると考えています。また、年度末の学校評価アンケートに多くの保護者・地域の方々のご意見を頂戴しました。大切なご意見を参考に今年度を検証し、来年度の教育活動に役に立てて参ります。アンケートの集計結果を本校ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。来年度も第三中学校をどうぞよろしくお願いいたします。

第74回卒業式 送辞

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、今日の門出を心よりお祝い申し上げます。

三年前、この場所で、入学式を迎えられた皆さんは今、何を感じていらっしゃるのでしょうか。この中学校三年間という短い時間の中で、みなさんは色々な経験をし、沢山のことを学んできたことと思います。そのいろいろな出来事が、皆さんの心にどれほど大きなものとして残っているのか、私には想像もできません。今、皆さんの心の中にあるものがきっとこれから生きていく中で、心の支えとなり、道を照らす光にもなることと思います。

運動会や文化祭、残念ながらできなかった修学旅行、そして、友達と過ごした教室での風景。今、皆さんの心の中には第三中学校での数々の思い出がめぐっていることでしょう。そして部活動では、各部のキャプテンだった方々をはじめ、三年生はいつも後輩をまとめ、引っ張ってくれました。そして、時には厳しく時には楽しく、部活動を盛り上げてくれました。本当に頼もしい先輩でした。そんな先輩の姿を見て、部活動へ対する姿勢や、取り組み方、そしてチームが一丸となり、自分たちの目標に向かって日々の練習を一生懸命やることの大切さを学びました。三年生が今までつくりあげたチームは、私たちにとって最高のチームでした、これからも、後輩を引っ張りチームの目標に向かって、日々の練習を頑張っていきます。

運動会では、三年生を中心に紅組と白組に分かれ、各団が全力で取り組むことができました。しかし、そこには三年生の影の努力があったことを知っています。休み時間や放課後を利用して、僕たち一人一人がまとまるように努力していました。そして、団冊子では毎日欠かさず、熱いメッセージやエールをもらったことを今でも、覚えています。これからは僕たちが最上級生として、後輩に先輩達からいただいた言葉を思い出しながら、一つ一つ丁寧に教えていきたいと思っています。

先日の三送会では、三年生のエンターテイメントな出し物に驚きを隠せませんでした。そこでは、三年生が一丸となり、僕たちを心の底から笑わせてくれました。そして、その中で感じたことは、三年生の団結力です。その三年生の団結力というのは、計り知れないものだ実感しました。そんな憧れの先輩を見本にしながら、学校生活を通して友情や信頼を深め合っていきたいと思っています。

最後に、今年は、新型コロナウイルスの影響で、数多くの制限がありました。その中の修学旅行では、延期から中止となり、とても残念な気持ちでいっぱいだと思います。そこで、僕たちが何かできることはないかと考え、僕たちの修学旅行では、三年生の奉納歌である「命の歌」を薬師寺で、奉納しようと考えています。今年、できなかった悔しい気持ちを、僕たちが背負って、三年生の方まで奈良にもっていきます。

これから新しい道へ進んでいく三年生の皆さん。きっと楽しいことばかりでなく、悩み事や大変な壁にぶち当たることもあると思いますが、三年生の持ち前の明るさと、団結力。そして、この第三中学校で培ったことを生かして、乗り越えてください。これからの高校生活でも、輝く姿を楽しみにしています。これで在校生代表として送辞とさせていただきます。

令和3年3月19日 在校生代表 秋田 知洋



第74回卒業式 答辞

冬の厳しい寒さも和らぎ、春の訪れを感じさせる季節となりました。本日は、私たちのためにこのような温かな卒業式を開いていただき、ありがとうございます。私たちは、今日この日をもって、大島町立第三中学校を卒業します。

これまで十五年間、一番近くで私たちを支え、育ててくれた両親、そして、三年間私たちを見守り指導してくださった先生方に、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

三年前の入学式。小学生の時は肩を並べていた先輩の背中が、とても大きく感じました。一、二年生の皆さんの目に、私たちの姿はどのように映っていたのでしょうか。

中学校三年間の中で、様々な「出会い」が私たちを成長させてくれました。中でも大きな「出会い」の一つが、部活動です。私は三年間の野球部の活動を通して、小学生の時には考えたことのなかった先輩や後輩との関係から、相手を敬い尊重する気持ちを教わりました。そして何より、全力で頑張ることの難しさと、その楽しさを学びました。私は高校へ行っても野球を続け、中学校での学びを生かし、どんなときも全力で野球を楽しみ、将来に生きる体力と精神力をつけていきたいです。

また、生徒会活動では、自分たちの手で、三中をより良くするためにはどうしたらいいのか、生徒が主体となって話し合いを進めることで、自主性や積極性がつきました。「自治の庭」。その第一歩を、部活動や生徒会活動を通して踏み出すことができました。高校に入学してからも、中学校生活で得た学びを、様々な面で発揮していきます。

たくさんの経験と思い出を積み重ねてきた、中学校三年間の中で、特に思い出深いのは、やはり最上級生として過



ごした、この一年です。特に今年はコロナウイルスの影響で、部活動の大会や水泳大会、修学旅行などの校外学習を実施することができませんでした。さらに不運が重なり、雨の影響で、町レク大会も中止となってしまいました。しかし、その様な厳しい状況の中でも、先生方や地域の皆様のご協力のおかげで開催できた行事もあり、私たちにとっては、多くのことを学び、充実した最後の一年になりました。

特に強く印象に残っているのは、学年や学校の枠を超えて協力し合った、小中合同運動会です。三年生の準備は、七月から始まりました。放課後や夏休みを利用して、民舞や、棒体操、ダンスなどの練習を進めました。民舞は毎日、足がパンパンになるまで練習しました。自分達が踊れるようになるだけではなく、一、二年生にどのように教えるのかを考えながら練習しました。運動会特別時程が始まり、下級生をまとめる立場にたった時、改めて、最上級生としての責任を実感しました。

三年生は各団に三人という少ない人数で、練習を思うように進めることができず、悩むこともありました。そんなとき、力を貸してくれたのは先生方でした。先生方からのアドバイスを一つひとつ実践していき、自らも工夫していくことで、段々とよい雰囲気ですmoothに練習を進めることができるようになりました。また、私たちを信じ、ついてきてくれた一、二年生の存在も、とても大きな支えとなりました。

新たな挑戦となった棒体操。どんな技をやるかも、一から自分達で考え、つくり上げました。正直、とても不安でした。しかし、全員が当日の成功を信じ、弱音を吐かずに練習を重ね、本番当日、「挑戦」と「感謝」の文字を掲げることができたときの達成感は、忘れられません。

女子ダンスは、三年生が振りを考え、一、二年生に教えるまで、一から自分たちの手でつくり上げました。一、二年生を含めた全員が踊れるような振り付けや、わかりやすい教え方の工夫を考えるのは、これまで経験したことのない苦労がありましたが、時には意見をぶつけ合いながら、課題を一つひとつ解決していくことで、人数の少なさを感じさせない、見ごたえのある演技を作りあげることができました。

運動会当日では、出る種目はもちろん、応援も全力で取り組み、それまでの努力や、やってきたことの全てを出し切れたことは、大きな自信になりました。運動会で学んだことを、高校へいっても生かしていきたいです。

運動会同様、学年の枠を超えて力を合わせた思い出として、深く心の残っているのは駅伝大会です。先輩から受け継いだ心の襷を胸に、運動会前から、駅伝に向けての自主練習を始めました。最初は男子三人でスタートした練習でしたが、声を掛け合い、Aチーム、Bチーム、補欠関係なく、放課後に集まって練習しました。女子も、三年生を中心に自主練習をし、絆を深め、チーム力を上げていきました。男女ともに優勝することはできませんでしたが、一人ひとりの協調性や三中としての団結力の高まりを感じることができました。二年生にはあと一回、一年生にはあと二回、チャンスがあります。伝統の心の襷を胸に、来年は、男子も女子も優勝し、都駅伝に出場してください。応援しています。

在校生の皆さん。これまで私たちを支え、日々の生活を彩ってくれた皆さんとの思い出は数え切れません。部活動で、なぜか笑いが止まらず顧問の先生に指導を受けたり、アイスをかけてエラーの数で勝負したりしたこと。また生徒会活動で腹筋が崩壊するほど笑い、話し合いが進まなくなってしまうこと。テスト期間中、暗くなるまで野球をしてしまい、先生に拡声器で呼ばれたときの、あの背筋が凍るような感覚も、今となっては懐かしい思い出です。一、二年生の皆さんと過ごした日々は、決して楽しいだけではなく、時には苦しく辛いこともありました。しかし、どんなこともポジティブに捉え、笑いに変えてしまう、そんな後輩の姿から、私も学ぶことが多くありました。

在校生の皆さんには、一日一日を大切に過ごしてほしいです。何事にも全力で取り組み、様々なことを経験して、中学校生活を自分自身の手で意味のあるものにしていってください。

最後に、九年間、苦楽を共にした同級生。この五人と過ごした日々は、私にとってかけがえのないものになりました。全力で駆け上がってきた九年間、良くも悪くも色々なことがありましたが、私はこのクラスの一人になれたことが何よりも嬉しいです。

私たちは、これからも第三中学校の卒業生であることの誇りを胸に、「立派な社会人」を目指し、切磋琢磨しながら成長していきます。中学校生活を支えてくださった全ての方々に、改めて感謝を申し上げるとともに、第三中学校の益々の発展を祈って、答辞いたします。



球技大会



受検や学年末考査が一段落した、3月3日に全学年合同で球技大会が行われました。卒業する3年生に思いきり体を動かして楽しんでもらえるように、学級委員が企画をしてきました。人数が少ない中で、チーム編成や競技内容を工夫したことで、学年に関係なく全員で楽しむことができました。3年生と一緒にスポーツを楽しむことができるのは、これが最後の機会となります。3年生の頼もしい姿や笑顔に触れ、残り僅かとなった卒業までの日々を、在校生も含めより一層大切にしたいと感じました。



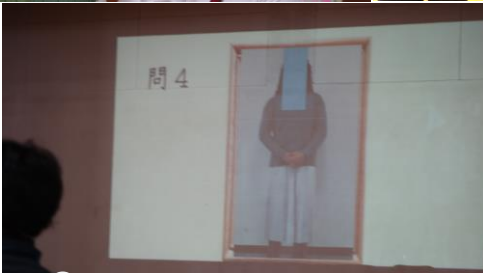
三年生を送る会

3月5日（金）に、三年生を送る会が行われました。この会の大きな目的は、「三年生へ感謝の気持ちを伝える」、「在校生が上級学年に向けての自覚をもつ」の2つでした。在校生全員が、運営・進行、記念品、レクリエーション、会場装飾の4つの係に分かれて活動を行いました。また、今年度は「三年生に感謝し、全員が笑顔で楽しめる三送会」というスローガンを設定し、三年生への感謝の気持ちを高めました。当日の出し物でも、各係がみんなで楽しめる企画を準備し、披露することができました。

昨年度来、様々な制限の中で学校生活を送ってきたため、三年生のこの会に込める想いをより一層強く感じました。三年生からの出し物では、ただのクイズではなく、早口言葉やフリースローに成功しなければ回答権が得られないなどたくさんの工夫が見られました。しっかりとストーリーが考えられていて、バラエティークイズ番組を見ているかのような感覚になりました。これが、「自分達で行事を創り上げていくということだ!」と、姿勢で後輩達に示してくれました。

三送会後に行ったアンケートでは、「三年生にこれまでの感謝の思いを届けることができた」、「自分達の力で三送会を創り上げることができた」の項目に対し、在校生全員が「はい」と回答しました。それだけ、準備から当日まで充実した取り組みができたという証だと思います。一方で、「係の準備に積極的に取り組むことができた」という項目では、「いいえ」と回答した生徒が複数いました。この回答を否定的に捉えるのではなく、自分の取り組み姿勢を素直に受け止めている生徒がいること、現状に満足せず、向上心をもっている生徒がいることと捉え、今後の指導につなげていきたいと思っています。現一・二年生が三年生からタスキを引き継ぎ、三中をより発展させてくれることを期待しています。





百人一首大会

コロナ禍における緊急事態宣言下。一時延長とはなりましたが、検温、換気、マスク着用、手の消毒といった感染予防対策を施したうえで、今年度も無事、校内百人一首大会を開くことが出来ました。

さて今年度は伊丹、原沢両先生のオープン参加もあり、例年にも増して熱い戦いが繰り広げられました。文化は受け継いでいかなければ廃れてしまいます。そういう意味では、こういった機会を失わなくて済んだことに安堵の思いと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今後も、生徒たち一人一人が「日本文化の継承者」という思いで指導して参りたいと思います。

個人戦 優勝

鵜飼 玲乃

チーム戦

Aブロック優勝

金澤陽太郎

松木 隆斗 組

Bブロック優勝

白木聖莉愛

中村 乃愛 組

Cブロック優勝

小泉 諒平

土屋 杏奈 組



校内マラソン大会



各学年優秀選手

1年 (男子)小川 航世 (女子)榊 あかり

2年 (男子)金澤 陽太郎 (女子)古屋 心渚

3年 (男子)田村 ソワカ (女子)中村 乃愛

男子総合3位 (6.4km) ※丸数字は学年

1位 田村 ソワカ③ 26分09秒

2位 金澤 陽太郎② 26分24秒

3位 小川 航世① 30分05秒

女子総合3位 (3.3km) ※丸数字は学年

1位 古屋 心渚② 15分31秒

2位 中村 乃愛③ 16分18秒

3位 土屋 杏奈② 17分07秒



4月行事予定

(令和3年3月24日現在)

第三中学校は自力登下校を推奨しています



日	曜	行 事
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	着任式・始業式・入学式
7	水	対面式
8	木	一斉計測
9	金	専門委員会
10	土	
11	日	
12	月	生徒朝礼 避難訓練
13	火	
14	水	町教研（給食後下校）
15	木	学力テスト（全学年）
16	金	激励会 学校公開 保護者会全体会
17	土	大島町体育祭野球大会（中学生の部）
18	日	
19	月	議案書検討 専門委員会
20	火	腎臓検診1次
21	水	開校記念日
22	木	
23	金	生徒総会 専門委員会
24	土	
25	日	
26	月	生徒朝礼
27	火	腎臓検診2次 小中合同職員紹介
28	水	
29	木	昭和の日
30	金	内科検診

着任式・始業式・入学式 4月6日（火）

令和3年度のスタートになります。新2・3年生は、先輩として新入生を迎え、新たな第三中学校のスタートです。10名の新1年生が入学予定です。2年生10名、3年生14名の総勢34名での船出の予定です。保護者・地域の皆様、令和3年度も第三中学校をよろしくお願いいたします。

対面式 4月7日（水）5校時

新入生に対して、生徒会役員が中心となり、三中の授業や生徒会、部活動のことなど、中学校生活について詳しく紹介します。

新入生に1日でも早く中学校生活に慣れてもらい、一緒に充実した日々を過ごして欲しいと新2・3年生が準備を進めています。

4月16日（金）

学校公開 1～5校時

第三中学校では令和3年度も保護者と地域と一体となって生徒の健全育成に努めてまいります。令和3年度最初の学校公開日です。地域の皆様も授業を是非ご覧ください。

保護者会全体会

年度初めの保護者会も行います。令和3年度の教育方針等についてご説明をします。保護者の皆様、参加をお願いします。

<5月の予定>

10日（月）～18日（火） 家庭訪問（1年）

10日（月） PTA 総会・部活動保護者会

13日（木） 福祉訪問（2年） 校外学習（1年）

13日（木）～15日（土） 修学旅行（3年）

22日（土）（土曜活用日） 小中合同引き取り訓練

25日（火）・26日（水） 中間考査

27日（木） 全国学力調査（3年）